



No.47 (2014.4)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のおアシス
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

診療科の紹介

総合診療・性差科 平野 隆雄



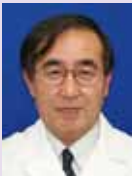
総合診療科はあらゆる疾患の患者さんを最初に受け入れる科であります。各診療科との連携を密にして順天堂大学練馬病院ならではの総合診療科を目指します。リスクのない診療、スタッフ(医師、看護師、事務など)にとって、魅力があり働きやすい診療科であることを目標といたします。当科の特徴である多彩な疾患群の患者さんに接する機会の多いことを生かして、研修医や学生にとって魅力がある教育を提供できる診療科を目指します。

循環器内科 住吉 正孝



順天堂大学練馬病院において昨年7月より循環器内科の単独当直(CCU当直)を開始、昼夜を問わず救急患者さんや紹介患者さんに対して、迅速に対応する診療体制を整備してまいりました。また、地域における開業医の先生方との病診連携をさらに深めるべく、毎月第2水曜日夜に「練馬循環器セミナー」を開催しています。今後も練馬区を中心とした循環器診療に少しでも貢献できるように努力いたしますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

消化器内科 宮崎 招久



消化器内科は食道、胃、腸、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓など多くの臓器疾患が対象となり、各種検査を通して総合的に患者さんの病態を把握し、学会専門医・指導医のもと適切な診断・治療を行っています。上部下部内視鏡検査数は年間5,000件以上、腹部超音波検査数は4,500件以上行っています。地域の皆様に信頼される消化器内科を目指し努力してまいります。

呼吸器内科 木戸 健治



呼吸器内科では咳、痰、息切れなどの呼吸器症状のあるかた、症状はなくても健診で胸部異常陰影の認められた方など幅広く診察しております。疾患としては肺がん、肺炎、気管支喘息、COPD、間質性肺炎を中心に呼吸器疾患全般の診断、治療を行っております。昨年から睡眠時無呼吸症候群の診断、治療も開始しております。呼吸器のことでお困りのかたは当科にご相談ください。

腎・高血圧内科 前田 国見



尿の異常(特にタンパク尿)、高血圧・糖尿病といった生活習慣病は、腎不全になり透析に至ってしまうような腎臓病だけでなく心臓病や脳卒中発症の危険因子です。腎臓病は、目立った自覚症症状がないまま進行するため、早期に発見して必要な治療を行うことが大切です。健康診断での尿異常(血尿・タンパク尿)、血圧異常、尿酸値やクレアチニン値に異常がある方は、是非とも一度腎・高血圧内科にご相談ください。

膠原病・リウマチ内科 名切 裕



膠原病・リウマチ内科は、平成17年7月練馬病院開院当初より診療を開始し、徐々に医師も増え平成25年1月より4人体制で、練馬区を中心とした東京都西部地区の膠原病・リウマチ専門診療の一翼として従事させていただいております。膠原病・リウマチを中心とした自己免疫疾患の患者さんを外来および入院病棟にて診療いたしておりますが、リウマチコントロール不良の患者さんには生物学的製剤導入目的で入院を勧め、外来では化学療法室にて生物製剤治療を施行しています。

血液内科 佐藤 恵理子



血液内科は、血液細胞(白血球・赤血球・血小板)を造っている骨髓や、免疫に関係のあるリンパ節から出てくる病気の診断・治療を専門とした科です。白血病、悪性リンパ腫、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫や再生不良性貧血、血小板減少症、血友病などが対象疾患です。血液検査で白血球や血小板が多い・少ないと言われた方はかかりつけの先生に相談して、骨髓検査やPET-CTなど精密検査が必要なようであれば血液内科を受診ください。

糖尿病・内分泌内科 川角 正彦



当科の対象疾患は、糖尿病、甲状腺疾患、高脂血症などです。なかでも糖尿病は今や国民病と言えるほど増加しており、放置すると心血管をはじめとする合併症のリスクが増加します。その管理には薬剤治療以外にも患者さん自身のライフスタイルの改善や疾患の正しい理解が不可欠であり、当科では患者さんの疾患理解を深め、よりよい治療が行えるようお手伝いしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

脳神経内科 三輪 英人



脳神経内科では脳、脊髄、末梢神経などの病気を診療します。脳梗塞、パーキンソン病、認知症、脊髄小脳変性症、ギランバレー症候群、てんかん、多発性硬化症など多くの病気を対象としています。頭痛、めまい、物忘れ、ふらつき、しびれ、ふるえ、歩行障害、手足の麻痺などが認められる場合には脳神経内科を受診ください。適切な診断・治療を行うため、病状に応じてCT、MRI、脳波、脳血流、筋電図などの検査をご提案します。

メンタルクリニック 八田 耕太郎



高齢化が急速に進行する中、せん妄をはじめとする脳に加齢変化を背景にした精神症状の入院中の発生は日常的であり、精神症状ゆえに本来の身体疾患の治療が滞ってしまうことは少なくありません。そのような状況を避け、他科の医師やスタッフが円滑に仕事できるよう、入院患者の精神症状に可能な限り即応することを第一の任務としています。このため外来は、院内からの紹介のみの体制です。

小児科 新島 新一



当科は新生児医療・救急医療を含め、ほぼ全ての小児医療に対応しています。特に低身長診療に力を入れており、成長ホルモン分泌不全性低身長症(科長・新島)は、現在約200名と東京都で2番目の患者数を診察しています。その他、慢性腎疾患・夜尿症(大友・海野)、神経疾患(新島・山下)、循環器疾患(大高)、感染症(五十嵐)に多数ご紹介いただいています。当院の小児診療の最大の武器は小児外科があるため、手術が必要な疾患の加療が可能です。

小児外科 浦尾 正彦



新生児から中学生までの小児の外科疾患を治療します。対象疾患は幅広く、腹部、胸部、泌尿器、体表疾患の治療を行います。特に安全性と非侵襲性を重視し、患児にできるだけ負担の少ない治療を心がけています。ほとんどの消化管、鼠径ヘルニア、胆道系疾患に対しては腹腔鏡手術を行い、膀胱尿管逆流などには膀胱鏡下Deflux注入術などを得意としています。また、臍ヘルニアの綿球療法、包茎に対する軟膏療法、漏斗胸に対するVB矯正など、切らない治療もすすめています。子供の外科的疾患はお気兼ねなくご紹介いただきたくお願いいたします。

総合外科 児島 邦明



食道・胃・大腸、肝・胆・膵、乳腺を中心に、がんの診断・治療に全力を尽くしております。従来手術のみならず、腹腔鏡を用いた最新の鏡視下手術を取り入れ、低侵襲かつ安全な治療を心がけております。がん以外の胆嚢結石症、鼠径ヘルニアなどの良性疾患や急性虫垂炎、消化管穿孔などの急性腹症にも単孔式鏡視下手術を導入し、最新の治療を行っています。また、常に合併症ゼロをめざし、安全かつ世界標準の治療を心がけています。

乳腺外科 北島 俊顕



乳腺外科は、乳がんの治療はもとより良性疾患や検診の精密検査まで広く診療いたします。乳がんにおいては、患者さんを中心とし、受診・診断・手術・治療・経過の中でチーム医療を実践し、常に最新のエビデンスにそった医療を提供しています。今年度は同時再建手術にも力を入れ、成績だけでなく整容性も求めた手術を心がけたいと思います。乳房のしこり、痛み、分泌液が出るなど、気になる症状でお困りの方はお気軽にご相談ください。

呼吸器外科 松澤 宏典



当科は肺を中心とした胸部疾患を扱っております。肺がん、自然気胸、縦隔腫瘍等です。自覚症状はほとんどない場合が多いため、胸部レントゲンやCTで影を指摘された場合はお早めにご相談ください。

手術は開胸と胸腔鏡があります。疾患によって適応の違いがありますが、安全かつ患者さんへ負担の少ない手術を行っております。

また内科治療、セカンドオピニオンについてもご相談ください。

脳神経外科 菱井 誠人



脳神経外科は、脳神経の病気に対し手術治療を行う診療科です。脳神経外科にて治療する代表的な病気としては、脳腫瘍、脳動脈瘤(くも膜下出血の原因)、脳出血、脳梗塞の原因となる頸部内頸動脈狭窄症、もやもや病、頭部外傷などが挙げられます。これらの命に係わる病気以外にも、高齢者の認知症の原因のひとつである水頭症(特発性正常圧水頭症)、片方の顔面が痙攣する片側顔面痙攣、顔面に激しい電撃痛が生じる三叉神経痛や、薬でおさまらないてんかん発作なども脳神経外科にて治療する病気です。脳血管の病気を切らずに治療する脳血管内治療も積極的に行っています。患者さんに負担が少なく、かつ最も患者のためになる治療法を、患者さんとよく相談して選択し丁寧に治療させていただきます。

整形外科・スポーツ診療科 野沢 雅彦



日頃、整形外科の診療にご理解とご支援を賜り、心より感謝いたします。当科においては大学病院としての機能である先端的な医療の導入と地域医療支援病院としての病診・病病連携を積極的に行ってきました。整形外科の守備範囲は広いのですが、特に股関節・膝・肩・脊椎疾患には力を入れており、多くの患者さんの診療にあたっています。また、トップレベルのスポーツ選手のメディカルケアも行っています。『患者さんに優しく』をモットーにバランスのとれた診療を今後も展開してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

皮膚・アレルギー科 貞政 裕子



平日午前中、順天堂医院からの応援医師含めて3診察室で診察を行っています。午後は、病棟処置・手術を施行しています。難治症例はカンファレンスで医員全員で検討します。

小手術室を併設しており、外来での日帰り手術も行っています。また、全身および手足narrow band UVB紫外線照射装置、エキシマライト、炭酸ガスレーザーを設置しています。小児の手術や全身麻酔を要する手術などは、順天堂医院などへご紹介しております。

泌尿器科 坂本 善郎



泌尿器科では他科に先駆けて「ダビンチ」というロボット支援手術が行われるようになりました。1台3億円以上する高価な機器で、2013年7月の時点で全国で123台導入されています(米国ではその約10倍)。順天堂医院も2台導入し、前立腺全摘除術を中心に施行されています。当院でも低侵襲の内視鏡観察下の小切開手術や腹腔鏡手術を施行しています。泌尿器科診療は日進月歩ですが、基本は安全・確実・低侵襲です。

眼科 横山 利幸



当院眼科では地域と連携し白内障をはじめ、緑内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜動静脈閉塞症、網膜剥離、斜視など様々な疾患を対象に診療しております。地域からご紹介いただきました症例の病状が安定しましたら、また地域へ逆紹介いたします。緊急入院・緊急手術を要する症例も事前にご連絡いただければ可及的速やかに対応いたしますので、地域の先生方におかれましてはまず一報、よろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉・頭頸科 飯塚 崇



当科は耳、鼻、のどの病気として、中耳炎、めまい、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（蓄膿症）、扁桃炎、声帯ポリープなどを専門にしています。詳細な検査をして正確な診断のもとに適切な治療を選択します。突発性難聴、顔面神経麻痺、耳鼻咽喉科領域の感染症は内科的治療を中心に、鼓膜の再生、鼻茸のある副鼻腔炎、声帯ポリープなどには外科的治療を行います。耳・鼻・のどの症状にお困りの際には、どうぞ当科でご相談ください。

放射線科 尾崎 裕



当院の放射線科は21名の診療放射線技師、6名（診断4、治療2）の医師、4名の看護師が専従し、PET-CT、SPECT、MRI、多列検出器型CT、血管造影、IMRT可能な放射線治療装置をはじめ、数多くの最新鋭装置を稼働させています。

医療の質はもちろんのこと、迅速性と接遇を常に心がけて診療にあたっています。よろずご相談・ご紹介いただければと日々お持ちしていますので、近隣の医療機関の皆様どうぞお気軽に地域医療連携室までお電話ください。

産科・婦人科 荻島 大貴



当科では年間約700件前後の分娩と悪性腫瘍を中心とした婦人科疾患を取り扱っております。妊娠分娩においては、東京都周産期連携施設であり、内科合併症妊娠を得意としております。婦人科悪性腫瘍においては2名の婦人科腫瘍専門医のもと最新のエビデンスに基づいた標準治療の提供、患者さん各々の心情に合わせた治療を提供させていただいております。また、腹腔鏡手術やウロギネコロジーも積極的に行っております。

麻酔科・ペインクリニック 菊地 利浩



当科のモットーは安全で患者さんに優しい医療の提供です。手術麻酔科管理においては、詳しく解りやすい説明を行い、患者さんの身体の状態に合った管理方法を考え、術後の慢性疼痛を残さない様、術後鎮痛も積極的に行っております。ペインクリニック外来では、神経ブロックを中心に薬物療法やリハビリテーションを加えた体系的な治療を行っています。腰痛や各種関節痛、頭痛、带状疱疹後神経痛、がん性疼痛などに対応しています。

病理診断科 松本 俊治



病理診断科が対象とするのは、全ての臨床科から提出される患者さんの組織検体および喀痰などの細胞診用検体で、病理組織診断、細胞診断、術中迅速診断を主な業務とし、病理解剖にも対応しています。臨床各科と連携を取りながら的確な病理診断を行い適切な治療のサポートをしています。当科では国内外のエキスパートとの交流を盛んにして病理診断のクオリティ向上を行い、国外病理医との活発な交流は当科の特徴です。

リハビリテーション科 黒須 昭博



当科は理学療法士8名、作業療法士3名、言語聴覚士2名で構成されています。

当科の特徴としては、ボバースアプローチを採用していることです。ボバースアプローチとは、脳などの中枢神経系が障害を受けることによって生じる姿勢や運動の障害を神経生理学的に分析し、発達学的考察を取り入れたリハビリテーション治療の概念およびその手技です。なお、現時点では入院患者さんのみを対象にしており、外来リハは行っておりません。

がん治療センター 花澤 喜三郎



順天堂大学練馬病院は練馬区内で唯一の東京都認定がん診療病院です。がん治療センターの業務はがん登録、緩和ケア、がん治療連携・患者相談、外来化学療法の4つに分かれています。

当院では東京都医療連携手帳の普及に努めています。この手帳は、安全で質の高い医療を切れ目なく提供していくために作成されました(5大がん+前立腺がん)。手帳の利点は、医療機関同士の情報共有、かかりつけ医受診日の確認、通院の負担軽減等です。

救急・集中治療科 杉田 学



当科は救急車で来院される方や他院よりご紹介いただいた方を中心に、24時間体制で診療しています。ベッドが満床の場合にも、救急患者を一旦受け入れて応急処置を施す方針としており、いわゆる「たらい回し」を防ぐように注力しております。救急車以外で来院した場合は、診察の優先度を定めるため、トレーニングを積んだ看護師が診療前トリアージを行います。一人でも多くの方を救うため、地域の核となり頑張ります。

看護部 岡田 綾



看護部には総勢450名を超える看護師、助産師、看護助手、事務員などがいます。最近ママさんナースも増え、若いスタッフの支えになってくれています。また30数名の男性看護師が男子ならではの技術と体力を生かしチームワークの良い活動をしています。看護師教育の特徴としては練馬病院独自の認定教育コースがあり、今年からは他病院の受講生も共に学び始めました。これからも地域の力となれるように努力してまいります。

薬剤科 宮崎 招久



薬剤科では処方せんに基づく調剤、服薬指導、抗がん剤のミキシング、医薬品情報管理など幅広い業務を行っており、院内の感染制御チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームにも参加しています。昨年度は、入院時の持参薬管理や入院中の薬剤管理など、病棟での業務を充実させてきました。また、地域の薬剤師との連携にも取り組んでおり、年に3回勉強会を開催しています。4月からは久しぶりのフレッシュな新人を迎え、より一層頑張っております。

栄養科 前田 国見



私達のモットーは患者さんの立場に立ち、患者さんに笑顔と優しい心で向き合うことです。

栄養科では毎日、献立の打ち合わせ会を実施し、週1回食事要望調査を行い、個別の要望については病棟訪問にて対応するなど、常に治療に役立つ美味しい食事が提供できるように努めています。

また、食事についてのお悩みやご相談のある方を対象に休診日を除く毎日、個別に栄養相談も行っています。NSTを始めとするチーム医療の一員としても活発に活動しています。

「かかりつけ医」を持ちましょう！

当院は、皆さんのかかりつけの先生と連携した診療を行っています。地域に密着した診療を行うために、そして患者さん一人ひとりに安全で根拠に基づく適切な質の高い医療を提供するために、ご自宅や職場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めします。

